



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 リオン株式会社

コード番号 6823 URL <http://www.rion.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 清水健一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事業支援本部長

(氏名) 大内武彦

TEL 042-359-7099

四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	13,839	1.1	1,112	△22.6	1,170	△22.0	808	△19.1
28年3月期第3四半期	13,695	2.7	1,436	△5.3	1,501	△2.2	998	3.1

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 775百万円 (△31.3%) 28年3月期第3四半期 1,128百万円 (1.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	65.85	—
28年3月期第3四半期	81.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	25,195	17,446	69.2
28年3月期	25,677	17,039	66.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 17,446百万円 28年3月期 17,039百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
29年3月期	—	15.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,700	4.5	2,500	10.2	2,500	5.5	1,800	12.9	146.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	12,294,400 株	28年3月期	12,294,400 株
29年3月期3Q	17,136 株	28年3月期	17,136 株
29年3月期3Q	12,277,264 株	28年3月期3Q	12,258,041 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、欧米の政治情勢への不確実性が高まり、為替変動による影響への警戒感も依然として続いていることから、個人消費マインドや企業の設備投資の持ち直しに足踏みが見られ、先行きが不透明な状況で推移しました。

このような中、当社グループの業績につきましては、微粒子計測器の販売が好調に推移したことに加え、補聴器と医用検査機器の売上高が前年同期を上回ったことから、全体では前年同期と比べて増収となりました。一方、利益面につきましては、補聴器の販促活動に伴う販売費が増加した影響により減益となりました。

当第3四半期累計期間の業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(金額単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	増減	増減率 (%)
売上高	13,695	13,839	144	1.1
営業利益	1,436	1,112	△324	△22.6
経常利益	1,501	1,170	△330	△22.0
親会社株主に帰属 する四半期純利益	998	808	△190	△19.1

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(医療機器事業)

補聴器では、第1四半期において売上高が伸び悩んだものの、積極的な販促活動を展開したことに加え、平成28年7月に多数の新製品を発売したことによる販売の増加や、販売子会社（東京リオネット販売株式会社）を連結の範囲に含めたことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。医用検査機器では、総合病院、大学病院等に対する大型の聴力検査室の売上高が前年同期を下回ったものの、診断用オーディオメータやインピーダンスオーディオメータなど高額製品の大口受注を獲得したことなどにより、前年同期を上回りました。

これらの結果、医療機器事業全体では売上高は前年同期を上回りましたが、補聴器の販促活動を積極的に展開したことなどにより販売費が増加したため、減益となりました。

(環境機器事業)

音響・振動計測器では、国内における工場等の設備投資が伸び悩んだものの、都市部を中心とした建設工事の増加に伴い騒音計や振動計の販売が堅調に推移したほか、鉄道などインフラ関連市場において地震計の大口受注を獲得したことにより、売上高はほぼ前年同期並みとなりました。微粒子計測器では、電子デバイス関連市場の設備投資意欲が依然として高いことから、主に海外において最先端機種を中心に液中微粒子計の販売が好調に推移し、大幅な増収となりました。

これらの結果、微粒子計測器の好調な売上が事業全体を牽引し、環境機器事業は前年同期と比べて

増収増益となりました。

当第3四半期累計期間のセグメントごとの業績を前年同期と比較しますと、次のとおりとなります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	売上高			営業費用			営業利益		
	28年3月期 第3四半期	29年3月期 第3四半期	増減	28年3月期 第3四半期	29年3月期 第3四半期	増減	28年3月期 第3四半期	29年3月期 第3四半期	増減
医療機器事業	8,464	8,485	20	7,320	7,727	406	1,143	758	△385
環境機器事業	5,230	5,354	123	4,938	5,000	62	292	353	61
計	13,695	13,839	144	12,258	12,727	468	1,436	1,112	△324

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医療機器事業では、補聴器において、新規顧客の獲得とリピーターの増加を図るため、販売店の新規出店や既存店へのきめ細かいサポートなどの施策を継続するほか、年度末に向けて各種販促活動を実施することにより、売上高の伸長を図ってまいります。医用検査機器においては、年度末に向けて耳鼻咽喉科市場での買い替え需要を捕捉して確実に受注につなげるとともに、中国における拡販に取り組むことにより、販売は堅調に推移するものと見込んでおります。

環境機器事業では、音響・振動計測器において、年度末に向けて増加が見込まれる企業や官公庁における大口の設備投資案件を確実に受注するほか、中国や東南アジアを中心に海外展開を引き続き推進することで、売上高の増加を見込んでおります。微粒子計測器においては、再生医療分野での気中微粒子計の拡販に努めるほか、電子デバイス関連市場での微細化に伴う設備投資により液中微粒子計の需要が継続すると見込まれることから、販売は引き続き好調に推移するものと見込んでおります。

以上のことから、連結業績予想につきましては、微粒子計測器の販売が引き続き好調に推移するとともに、補聴器、医用検査機器及び音響・振動計測器の販売が年度末に向けて増加するものと見込んでいることから、平成28年4月28日に公表した数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,998,098	3,044,501
受取手形及び売掛金	5,818,468	5,251,405
たな卸資産	3,670,138	3,724,058
その他	876,350	821,172
貸倒引当金	△17,567	△21,697
流動資産合計	13,345,487	12,819,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,166,982	2,086,410
土地	6,401,614	6,401,614
その他（純額）	950,189	1,018,692
有形固定資産合計	9,518,785	9,506,717
無形固定資産	623,705	702,196
投資その他の資産		
その他	2,278,917	2,169,708
貸倒引当金	△89,208	△2,726
投資その他の資産合計	2,189,708	2,166,982
固定資産合計	12,332,200	12,375,896
資産合計	25,677,687	25,195,336
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,248,594	1,443,669
1年内返済予定の長期借入金	616,472	481,472
未払法人税等	265,112	12,417
賞与引当金	817,809	430,774
製品保証引当金	177,274	180,130
返品調整引当金	53,955	50,516
その他	434,644	555,012
流動負債合計	3,613,862	3,153,992
固定負債		
長期借入金	495,362	160,508
退職給付に係る負債	2,860,537	2,714,013
その他	1,668,794	1,720,579
固定負債合計	5,024,694	4,595,100
負債合計	8,638,557	7,749,093

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 3 四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 014, 613	2, 014, 613
資本剰余金	2, 438, 112	2, 438, 112
利益剰余金	8, 655, 446	9, 095, 573
自己株式	△10, 138	△10, 138
株主資本合計	13, 098, 034	13, 538, 161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	480, 855	465, 104
土地再評価差額金	3, 545, 298	3, 545, 298
退職給付に係る調整累計額	△85, 057	△102, 320
その他の包括利益累計額合計	3, 941, 096	3, 908, 082
純資産合計	17, 039, 130	17, 446, 243
負債純資産合計	25, 677, 687	25, 195, 336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年12月31日)
売上高	13,695,066	13,839,747
売上原価	6,507,624	6,547,301
売上総利益	7,187,441	7,292,445
販売費及び一般管理費	5,751,260	6,180,335
営業利益	1,436,180	1,112,110
営業外収益		
受取利息	3,530	2,447
受取配当金	23,545	15,452
受取家賃	21,467	36,127
受取保険金	11,128	13,167
その他	22,434	19,390
営業外収益合計	82,106	86,585
営業外費用		
支払利息	9,567	5,115
支払手数料	6,403	18,760
その他	1,182	4,108
営業外費用合計	17,153	27,983
経常利益	1,501,133	1,170,712
特別利益		
固定資産売却益	-	163
投資有価証券売却益	3,541	-
新株予約権戻入益	1,998	-
特別利益合計	5,539	163
特別損失		
固定資産除却損	7,543	6,485
投資有価証券売却損	250	-
特別損失合計	7,794	6,485
税金等調整前四半期純利益	1,498,878	1,164,390
法人税、住民税及び事業税	326,322	184,745
法人税等調整額	173,571	171,200
法人税等合計	499,894	355,945
四半期純利益	998,984	808,444
親会社株主に帰属する四半期純利益	998,984	808,444

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	998,984	808,444
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	120,690	△15,751
土地再評価差額金	4,091	-
退職給付に係る調整額	4,912	△17,262
その他の包括利益合計	129,694	△33,014
四半期包括利益	1,128,678	775,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,128,678	775,430
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

[セグメント情報]

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,464,617	5,230,448	13,695,066	—	13,695,066
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,464,617	5,230,448	13,695,066	—	13,695,066
セグメント利益	1,143,740	292,440	1,436,180	—	1,436,180

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	医療機器事業	環境機器事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,485,468	5,354,279	13,839,747	—	13,839,747
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,485,468	5,354,279	13,839,747	—	13,839,747
セグメント利益	758,173	353,937	1,112,110	—	1,112,110

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

[関連情報]

製品及びサービスごとの情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位: 千円)

	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	合計
外部顧客への売上高	6,890,114	1,574,503	2,935,002	2,295,445	13,695,066

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

(単位: 千円)

	補聴器	医用検査機器	音響・振動計測器	微粒子計測器	合計
外部顧客への売上高	6,905,302	1,580,166	2,931,433	2,422,846	13,839,747